

岩手県医師会 広報活動の取り組み事例

～多角的な情報発信による地域・世代を超えた広報展開～



岩手県医師会 広報事例 | Slide 1

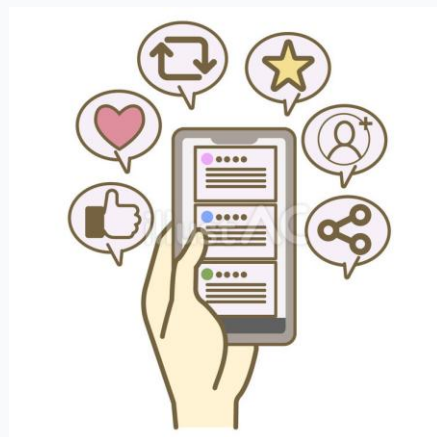
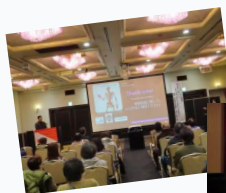
1/6

1. 公式Instagram（インスタ）の開設と活用



SNSを活用した幅広く開かれた情報発信

- ✓ 公式Instagramの開設と初期運用：まだ初期段階であるが、従来の広報誌やWebサイトに加え、多様な世代へタイムリーに情報が届く新たな情報チャネルとして始動。
- ✓ 年末年始当番医の掲載（今後の展開）：今後は年末年始の休日当番医一覧などをタイムリーに発信し、県民の安心・安全な医療アクセスを支える実用的な広報ツールとして拡充予定。
- ✓ 県民に認知度の向上と関係構築：タイムリーな発信により、医師会活動への親近感向上と地域住民との新たな接点を創出。



岩手県医師会 広報事例 | Slide 2

2/6

2. 医療プロフェッショナリズム講義&学生フリートーク

日時・会場：令和7年10月3日(金)13:00～| 岩手医科大学 大堀記念講堂（医学部4年生対象） 挨拶・紹介：岩手医科大学 下沖収 医学部長

本間博 会長講演「地域医療と医師の役割」

- ・医師会の歩みと目的：明治39年設立からの歴史。国民の医療の質保証を担う専門職能集団として綱領・医の倫理を遵守。
- ・岩手県医師会の状況：会員2,168名（勤務医が約6割と最多）。意見を行政へ提言し新たな医療政策・変更を牽引。
- ・三位一体のサポート：医師会・信用組合・協同組合が連携し、会員・国民皆保険制度を力強く支援。

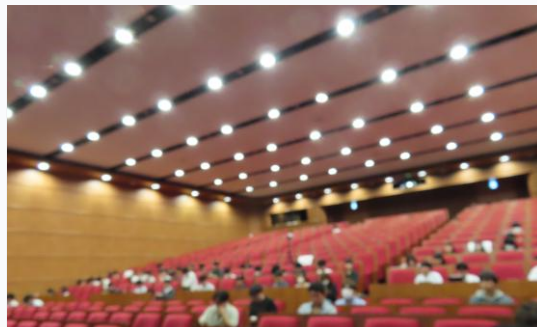
先輩医師講演 & フリートーク質疑

寺内貴廣 先生（磐井病院 / 元竹富診療所長）
竹富島での離島医療・総合診療の経験と地域医療の実践

藤原裕大 先生（盛岡市立病院）
二戸圏域6年間の訪問・専門診療、奨学金活用のキャリア

千田恵美 先生（千田クリニック）
医療制度、開業新トレンド、医師会を通じた社会への提言

フリートーク問答：医師会入会理由、働き方改革と地方医療、離島医療の苦勞・甲斐、岩手での専門選択動機など活発に議論。



講義・対話セッションの成果

医学生・若手医師・開業医・医師会役員が一体となり、地域の未来を担う医師の育成とキャリア展望を語り合う貴重な機会となりました。

岩手県医師会広報事例 | Slide 3

3/6

3. 岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学学生との懇談会

日時・会場：令和7年11月28日(金)18:30～| 岩手県医師会館4階ホール（参加者36名） 担当：伊藤智範 常任理事 / 挨拶：本間博 会長

メインテーマ：「女性医師の働き方」（座長：千田恵美 副部会長）

【講演1】「自分らしい働き方を考える」
朴澤麻衣子 先生（岩手県立宮古病院循環器内科第2循環器内科長）

【講演2】「働き方を考える～仕事とプライベートの両立とは？～」
叶城 倫子 先生（岩手県立磐井病院 麻酔科長）

医学生への情報発信・連携強化施策

重点推進

- ・日本医師会 公式LINE 登録促進チラシを配布：
懇談会にて医学生へチラシを直接配布し、日本医師会公式LINEへの登録を周知・勧奨。
若い世代との継続的なデジタル接点を構築。
- ・広報誌「いわて医報」を毎月50部配布：
医学生へ継続的に「いわて医報」を毎月50部届け、県内医療の現状や医師会の取り組みを身近に伝える情報提供を実施。



懇談会・情報交換会の主な成果

ライフステージごとの働き方や両立支援の経験を共有。質疑・情報交換会で医学生と女性医師の親密なネットワークを形成（24年目・第20回の節目）。

女性医部会 設立24年 懇談会開催 第20回
LINE案内 & 医報 月50部

岩手県医師会広報事例 | Slide 4

4/6

4. 岩手県民公開講座「いわて健康塾」の開催

開催概要

日時：令和7年12月14日(日)午後2時～
場所：アートホテル盛岡 鳳凰の間 II
来場者数：約65名
司会：テレビ岩手 江口アミ アナウンサー
挨拶：岩手県医師会 本間博 会長（橋本真生 常任理事 代読）
読売新聞 岡安大地 盛岡支局長

当日の様子



令和7年12月14日 アートホテル盛岡での開催風景

講演内容

『骨の声を聞こう！ ～折れる前にできることをすべてやる時代へ～』

講師：山部大輔 先生（岩手医科大学整形外科学講座 助教）

講演のポイント

1 骨粗しょう症の現状

40歳以上で約1,590万人（総人口の約10%）。患者の80%以上が女性で閉経後のエストロゲン低下が大きく影響。

2 健康寿命との関連

平均寿命と健康寿命に約10年の差。要介護要因の約40%が「骨折・転倒」。大脳脊髄部や椎体の骨折は死亡率増加に直結。

3 診断と治療

DXA（デキサ）法等の骨密度測定、診断基準、生活習慣病（糖尿病・CKD等）や薬剤との関連性を分かりやすく解説。

4 日常の予防と対策

ビタミンD（魚・きのこ）・カルシウムの摂取、適度な運動、日光浴の重要性を提示。

成果・まとめ

一般の参加者にも分かりやすい構成で活発な質疑応答も行われ、骨粗しょう症の早期診断・治療開始の重要性を啓発する大変有意義な機会となりました。

岩手県医師会 広報事例 | Slide 5

5/6

5. ラジオ放送等メディア展開 & 今後の展望

音声メディアの活用と持続可能な広報展開

- ✓ ラジオ放送を通じた情報発信：高齢者層をはじめ幅広い年代に親しまれるラジオ番組を活用し、季節の健康注意点や医療情報を音声で届ける。
- ✓ 多角的なメディアミックス：SNS（Instagram）・県民公開講座・ラジオ・広報誌を連携させ、届きにくい層へも広くカバー。
- ✓ 今後の展望：デジタルとアナログを融合させた発信をさらに強化し、県民に寄り添い信頼される医師会広報を目指す。

令和7年度 放送一覧

上半期	4月～9月	下半期	10月～3月
4月	「泌尿器・腎臓の病気の話し」 岩手県臨床内科医会 高橋 麻依 先生	10月	「緑内障について」 岩手県眼科医会 福田 一央 先生
5月	「肺癌について」 岩手県外科・整形外科医会 馬場 誠朗 先生	11月	「皮膚がんについて」 岩手県皮膚科医会 三浦 慎平 先生
6月	「胃がん・大腸がん」 岩手県臨床内科医会 赤坂 理三郎 先生	12月	「耳鼻咽喉科疾患について」 岩手県臨床耳鼻咽喉科医会 小野寺 耕 先生
7月	「骨粗鬆症について」 岩手県外科・整形外科医会 山部 大輔 先生	1月	「腎泌尿器科のおはなし」 岩手県泌尿器科医会 松浦 朋彦 先生
8月	「心臓が関係する症状」 岩手県臨床内科医会 臼井 雄太 先生	2月	「小児の血液疾患について」 岩手県小児科医会 平井 大士 先生
9月	「子宮体がんについて」 岩手県産婦人科医会 永沢 崇幸 先生	3月	「こころの健康」 岩手県精神医会 三田 俊成 先生

IBCラジオ放送「健康で長生きするために」
放送時間：毎週日曜日 朝 7:30～7:40（10分間）



令和8年9月放送 収録出演者

佐藤 千絵 先生（岩手県産婦人科医会）
風見 好栄 アナウンサー（IBCラジオ）

岩手県医師会 広報事例 | Slide 6

6/6